

中村耳鼻咽喉科だより

VOL.1

= 補聴器(使用をお考えの方へ) =

補聴器ってどんなもの？

補聴器は聞こえにくい音を大きくする医療機器です。しかし、ただ音を大きくしただけでは、人の声も周囲の音も一緒に大きく聞こえるので、人の話す言葉が理解できないこともあります。そのため、補聴器には聞こえてくる音を微妙に調節する調整器が備わっています。

しかし、補聴器は万能ではありません。自分に合った補聴器の調節や言葉を聞き分ける力が無ければ、補聴器を使用しても「うるさい」と感じたり「話声が聞きにくい」と思ってしまう。

補聴器の適応がある方は

◆「耳が遠いんじゃない？」と言われる。

◆テレビの音が大きいと言われる。

◆聞き返しや聞き違いがふえた。

など聞こえが悪くなってきたと感じたらまず耳鼻科を受診しましょう。

う。

どの程度の音が聞き取れるか(純音聴力検査)、言葉を聞き分ける力の程度を調べ(語音明瞭度検査)、治療による聴力改善の可能性を考慮した上で補聴器の使用を考えましょう。

補聴器相談

当院では毎月一回補聴器技能者と共に補聴器相談をしています。補聴器の適応があるか、検査・適合試験を行い一カ月間無料試聴(補聴器を実際に付けその効果を実感していただくこと)をしていただき装用するかどうか相談して決めています。補聴器相談は毎月第三火曜日です。予約制となっておりますので電話又は受付にて予約をして下さい。

補聴器の種類

補聴器はその形状から箱型(ポケット形)・耳かけ形・挿耳形(耳あな形)があります。また、音の処理・調整法の違いによりアナログ・プログラマブル・デジタルに分かれ聴力の程度により適応が異なります。

箱型

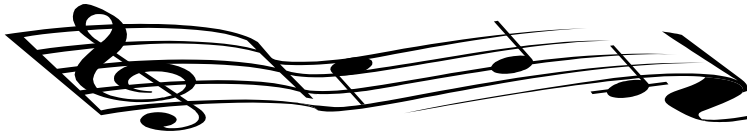


耳かけ形



挿耳形





補聴器の価格

価格もさまざまで三万円ぐらいく
数十万円する物もありますが高い
物が自分の聴力に合うとは限りま
せんのでよく相談して決めましょ
う。

補聴器の交付制度

高度の聴力障害がある方は身体障
害者手帳交付申請（聴覚）をし、補
聴器の交付制度を受ける事ができ
ます。

（身障法の適応）



補聴器購入時の注意

- *****
補聴器店に自分の希望を
伝えましょう
- ◆ 聞こえなくて困るのは、
どういう時ですか？
 - ◆ 補聴器を使いたいの
はどんな時ですか？
 - ◆ 見た目はどんなものが
よいですか？
 - ◆ 予算はどのくらいを
考えていますか？ など
- その場で補聴器を試してみましょ
う
- ◆ 相手の声は？
 - ◆ 自分の声は？
 - ◆ 周囲の物音は？
- 調整して聞きやすい声にしてもら
いましょう
- ◆ 相手の声、自分の声、周囲の物
音が自然に聞こえますか？

ピッタリと耳栓を合わせましょ
う

- ◆ 耳に入れやすいですか？
- ◆ ピーピー音が
もれていませんか？
- ◆ 耳が痛くありませんか？
- ◆ 落ちやすいですか？
- ◆ 補聴器が安定していますか？

補聴器の取り扱いの説明を
受けましょ
う

- ◆ スイッチの切り替え方
- ◆ 電池の入れ替え方
- ◆ 音量調整のしかた
- ◆ 耳への装着のしかた
- ◆ 補聴器の管理法 など

補聴器とはどのような物が軽い気
持ちで試してみてはいかがでしょ
うか？

詳しくは[こちら](#)へ

